



調布市は、令和7年4月1日に市制施行70周年を迎えました



令和7年(2025年)
No.1787

4 / 20

市報

ちようふ

CONTENTS(主な内容)

鉄道敷地(京王線跡地)の整備が完了しました	3
議会報告会	4
神代出張所の暫定移転	4
5月の休日診療当番医	14
調布で頑張る本屋さん	16

深大寺

大修理完了記念

日本最大の肖像彫刻・東京都指定有形文化財

がんざんだいし

元三大師像 御開帳

日時／4月26日(土)～6月2日(月)
時間／午前10時～午後4時
場所／深大寺元三大師堂

詳細は2面をご覧ください ➡

手をつなぐ樹 461



導いて癒されて

幼稚園の春の遠足の日、4月に入園したばかりの娘がカーテンを掴んで、激しく降りしきる雨を窓越しに恨めしそうに眺めながら、涙目で「行きたいの」と呟いた。

その何年後だったか、小学校低学年の息子が泳ぎを習い覚えたというので、訪れたプールで「泳いでみろよ」と言ったら、ちよっとはにかんで「まだ減茶苦茶だよ」と言いながら、全力で手足を猛烈なスピードで水にたたきつけてなんとか沈まずに水面に浮いていた。

折に触れ、何度も何度も同じ昔の出来事を思い出す。すでにして、私にとつては遠く過ぎ去った子育ての日々。決してすべてが順調に推移したわけではない。当然ながら、喜怒哀楽さまざまなことがあった。しかし今にして思えば、こどもと触れ合い指導する過程で、なんと多くの癒し、安らぎを得ていたことだろう。

そもそもわが子が小学生となり、日常生活における意思の疎通にあまり不自由を感じなくなつたと思つて以降、親子が緊密に時を過ごす期間はどれほどだろう。およそ10年程ではないだろうか。

春4月、桜花爛漫の中で今年も可愛らしい小学1年生の入學式に出席する機会を得て、多少感傷的になりながら、ほのぼのとした想いに浸らせて頂いた。

調布市友

友友貴樹



◀配布中止
連絡フォーム

市報ちようふは、
市報でもご覧いただけます

